

令和5年度 自己評価・学校関係者評価報告

認定こども園 あべの幼稚園

1、本園の教育目標

人間形成の基礎を培う幼児期、子ども達一人ひとりの主体性を大切にし、遊びを通して心身ともに好ましい発達が成し遂げられるように配慮した幼児教育をめざしている。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

日々実践し研鑽したことを全職員が共有することで資質向上をはかり、子どもの心を大切にする保育を行う。また、保護者との連携を密にし、より教育内容の充実をめざす。

3、評価項目の達成及び取組状況

評 価 項 目	取 組 状 況
「子ども心を大切にする」とは について、教職員間での共通理解をは かる。	子どもが発する言葉や行動から些細なことでも気づき、具 体的な場面で臨機応変な対応がとれるように職員間で話し合 いをし、研鑽をつんでいる。
充実した保育を目指す。	・令和5年度より満3歳児を受け入れ、安心できる環境の中 で、保育者の援助を受けながら食事・排泄などの生活習慣を 身につけ、身の回りのことを自分でおこなう。 ・年少3歳児クラスにおいて、各クラスに担任の他に補助教 員を配置するとともに、年中・年長においてもフリー職員を 多数配置し、より一層の保育の充実をはかる。 ・運動会、音楽会、生活発表会等の主な行事について、子ど も達1人ひとりの主体性を大切にし、しかも過度な負担にな らないよう、運動会は午前中で終了できるようプログラムを 配置したり、他の行事も子どもらしさが表現できるよう創意 工夫する。 ・食育についての研修会や給食委員会をもつことにより給 食のメニュー等の改善をはかる。 ・経験豊かな専門の担当を配置し、子どもの心身の状態や、 通常保育との関連を配慮しながら安心できる楽しい預かり 保育を実施する。

特別支援計画	・要支援児の個別指導計画を作成し、その子にあった指導を心掛けている。 ・年長組の要支援児については、小学校入学前に進学先の小学校と連携をとりながらスムーズに当該児が移行できるように心掛けている。
個々の子どもの状況、クラスの実態について定期的に話し合う機会を持つ。	定期的、かつ必要に応じて会議や研修会、ミーティング等を実施し、園長と教職員間のコミュニケーションを充分にとり、連携を深める。
非常時に迅速な対応ができるよう体制づくりをし、避難訓練を実施する。	・非常時のマニュアルを職員間で共通理解し、訓練を通じて子ども達にも伝え迅速かつ、連携して対応できるようにする。特に地震に備えて、2カ月に1回地震の避難訓練を行う。 ・「さすまた」を使い、不審者対応の訓練を実施している。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

教職員が自己点検、自己評価に取り組み、客観的に自分の保育を見直す機会を持てた。
今後も職員間の連携を密にし、学び合うことにより、保育内容や運営の改善に生かしていきたい。

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
群れ遊びの充実	職員間で群れ遊びについて園内研修を行い、保育実践する中で意見を交換しながら、質の高い群れ遊びをめざしていく。
非常時に迅速な対応ができるマニュアルの作成	どんな時にもあわてずに適切な対応が行えるように綿密なマニュアルを作成し、職員間で共通理解をはかる。

6、学校関係者の評価

園の教育内容を保護者もよく理解して、園と家庭とが連携しあって一人ひとりの個性を大切にしたい保育が行われていると評価されている。

7、財務状況

借入金もなく、公認会計士監査により適正な運営がなされていると認められた。